

さがしてみよう！ ③奈良・平安時代のもの

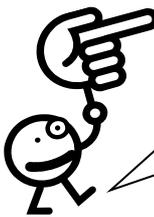
大井郷土資料館 <住所 ふじみ野市大井中央2-19-5 電話 049-263-3111>

上福岡歴史民俗資料館<住所 ふじみ野市長宮1-2-11 電話 049-261-6065>

今回は「奈良・平安時代のもの」についてしょうかします。平城京・平安京などの都、東大寺の大仏、貴族の登場、日本風の文化など…おぼえているかな？

このころのふじみ野市はどうだったのだろう…？ 復習するつもりで見てくださいね。

★ふじみ野市にある 奈良・平安時代のおもな遺跡★



●のところが、遺跡だよ。川に近いところで生活していたみたいだね。

川崎遺跡 (かわさき いせき)
たて穴式住居や柱をつかった建物のあとや、「五重の塔(とう)」をまねて、ねん土でつくった小さい塔の一部や、寺の屋根につかった「布目がわら」、ハスの花をもようにした緑色のうつわなど、平安時代の仏教に関する資料、鉄製の道具なども見つっています。
★上福岡歴史民俗資料館で展示中！

松山遺跡 (まつやま いせき)
奈良・平安時代のたて穴式住居、柱をつかった建物、平安時代の井戸のあとなどがみつっています。



鉄や鉄の道具も、大陸から伝わってきたんだよね！

東台遺跡 (ひがしだい いせき)
奈良時代から平安時代の初めころにかけて、鉄をつくるための大きな工場がありました。その時につかった道具の一部や鉄のかたまり・鉄くずなどもみつっています。

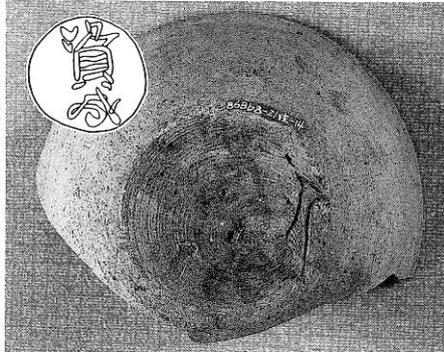


砂鉄から鉄のかたまりをつかった場所 ← → 燃料となる炭をつかった場所

資料館で見てみよう！「市内で見つかった奈良・平安時代のもの」

上福岡・大井の2つの資料館で展示しています。このほかにもあるので、ぜひ見に来てね！

★土器に文字が…？



大井郷土資料館で展示中！

土器の底には、墨（すみ）で「資成」と書かれているようです。

このような土器はほかにもあり、いろいろな字が見つっていますが、意味のわからないものも多く、まだまだ調査研究が必要です…。

でも、当時の人が書いた文字を見られるなんて、すごいですね！

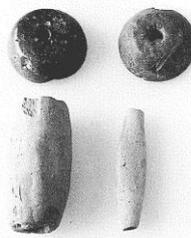
★奈良時代のベルト？



ハケ遺跡から見つかった「銙帯（かたい）」（腰につけるベルトのようなもの）の金具です。役人など位のある人がつけていたのでしょうか。

上福岡歴史民俗資料館で展示中！

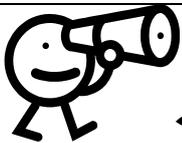
★生活のため？「税」のため？



上は糸をつくる時に使った紡錘車（ぼうすいしゃ）、下は魚をとるアミにつけたおもりの「土錘（どすい）」です。

生活道具ですが、「調（ちょう）」「庸（よう）」の税をおさめるためにも使ったのかも!?

上福岡歴史民俗資料館で展示中！



行ってみよう、見てみよう！

ひがしだいかなやまこうえん ふくげん
～東台金山公園と復元された大井戸～

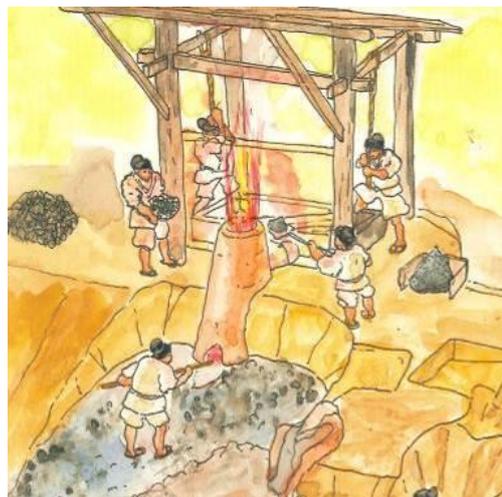
★東台遺跡と東台金山公園

砂川堀（すながわぼり）やセイコーモータースクール近くにあるマンション「コスモふじみ野」のあたりは、奈良・平安時代には、鉄をつくるための大きな工場がありました。

現在このマンションの一角にある東台金山公園に、7つあった鉄を作る炉（ろ）の一部を移し、遺跡全体を紹介するもけいも展示してありますよ。

★復元された大井戸

「べん天の森」のそば（川越街道の方）に、復元された「大井戸」があります。本物の井戸のあとは、ここより南の方にある砂川堀の工事で発見されました。平安時代の井戸で、「大井」の名前はここからつけられたとも…。



左の絵のような感じで、鉄をつくっていたのかも…。

こちらは「大井戸」の写真だよ！

